

3Dの生徒たちが、自分たちで判断して逃げたことを褒めていただくと共に、日頃から安全対策をして、いざというときに備えることや、「自分の身は自分で守る」ことの大切さを教えていただきました。



その後は、職員が研修を行いました。まずは、不審者が乱入したときの対応の仕方です。また、さすまたの使い方についても具体的に教えていただきました。



岐阜県警の方に不審者役をお願いし、実際の場面を想定して訓練を行いました。様々な場面が想定されるため、役割を交代しながら訓練しました。



さすただけだけでなく、机や椅子を使うことも大変有効だと聞き、実際に使って対応しました。





不審者が来ることが分かっているにもかかわらず、実際の場面に遭遇すると、とても怖かったです。そんなときに生徒役の先生が、「こっちへ逃げるよ!」と声をかけてくれました。その声を聞いて、冷静な状態に戻り、すばやく逃げることができました。

今回のことを含め、いつ、どんなことが起こるか分かりません。様々な場面を想定しながら自分がどう動くかよいかを考えていきたいですね。

また、尾関先生の話にもあったように、実際の場面では、生徒だけで逃げる可能性が非常に高くなります。お互いに声をかけ、自分たちで判断して行動していく力を身に付けていきましょう。

- ➡ **生徒だけで逃げる**
- 可能性が高い**
- ※ **お互いに声をかけあう**
- ※ **自分たちで判断**